



園長 引地美津代

5月の保護者会ではお忙しい中、多くの方にご参加いただきありがとうございました。初めに園の運営や保育内容の紹介をさせていただきました。毎年参加して下さる方が増え、嬉しく思います。今年は、「主体的・対話的深い学び」というキーワードで保育を進めていきます。子どもたちが「あっ！！」と思った瞬間から「あ～面白かった」「そうそう・そうだった！」と思える毎日こそ、学びが深まり、子ども自身の糧となるよう園生活の環境を整備し、様々なサプライズを仕掛けていきたいと考えています。

第2部講演会と磯部先生とのアートの時間はあっという間に過ぎてしまいましたが、子どもとアートとの関係性に触れ、今体験してほしいことも話してくださいました。打ち合わせしていたかのように子どもに対してのアプローチの仕方が同じところからでしたので、「そうそう！」と思いながら聞き入りました。8年ほど前に磯辺先生と出会い、様々な表現の仕方を学び、先生の子どもたちへの考え方を知りました。これは、かえでの絵画活動を指導いただいている太田先生と大変共通点があります。まず、子どもの考えを優先する関わり、どんな思いでも受け止めてくれる体制、アートを楽しめる子ども心が多くあることなど、私が目指すべき表現方法そのものでした。どんなことでも子どもたちの考え方や楽しみ方を大人が認めたり、援助していくことの大切さを伝えていただいたと思います。

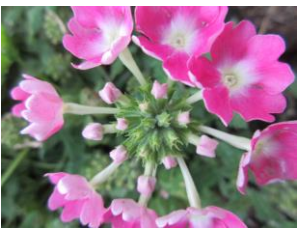
今年の保護者の方々のメッセージは『たいせつなもの』では様々な思いが見られました。

『笑顔』『時間』『今！』『人とのつながり』『食』『やる気』『楽しい思い出』『愛』『兄弟で読み継いだ絵本』など、それぞれの大切が見えてほっこりしました。ちなみに私は『人』でした。

保護者の方と職員でこの思いを共有して、子どもたちに向き合うことも大切にしていきたいですね！

さて、今年は前半に2歳児以上のクラスの懇談会を行いました。

続いて6月14日(水)は0・1歳児の保育参加になります。まだ、「小さいから」「わからないし、仕事が休めない」ということもあると思いますが、その時々にお子様の小さな変化や成長、職員とお子様との信頼関係を感じていただきたく、企画をしています。本来なら保護者のもとで毎日過ごすことが一番の環境だと思いますが、最近が一番である家族と過ごす時間がどんどん少なくなり、幼稚園でもプレルームで1歳後半から2歳児も母子分離の教室に通う時代になってしまいました。国の政策では、就労支援が中心で「子どもの心の支援」への政策はあまり取り上げられていません。お子様を育てながら休みが自由にとれる就労支援があれば・・・と強く思う毎日です。私たちの役割は仕事を持ちながら子育てすることをサポートすること。保護者の方々から離れて過ごす子どもたちの日々の様子や成長をお知らせできる行事を企画しています。これから計画している行事もお子様の成長をお知らせする節目としてご参加いただければうれしく思います。



最近のほっこりした出来事

卒園生からのお誘いをいただき、水泳大会を観戦しに行きました。在園中は大勢の中で自分から話をするのもドキドキしていたお子様でしたが、スタート台から飛び込んだり、堂々とした行動にただただ、胸が熱くなりました。これからもタイムをあげる！と意気込んでいる姿にほれほれです。

かえで保育園では様々な植物を育てています。いつもお知らせしていますが、ピオトープの横の木(子どもたちにはいつも不思議な木)もおいしい実がなり、マスカット・ミカン・オリーブも今年は何だけ実るのか楽しみにしています。子どもたちの流行はお昼のデザートに出る果物の種コレクション。事務長先生と鉢に植えた『美生ゴールド』や『ミカンの種』からしっかりした芽が出て、育とうとしています。だいちの女の子から『あのね～美生ゴールドから目が出たよ～』の声に半信半疑で見に行っただのですが一生懸命の伸びようとしている苗木と一緒に『がんばれ～』と声をかけました。生命力ってすごいですね！



にこにこメッセージ♪

園庭の木や草はお日様の光をたくさん浴び、緑にも深まりがでてきました。

5月は晴れの日が多く、園庭での水を使った遊びも盛り上がってきました。そうすると子どもたちの水遊びにはますます、拍車がかかり、びっくりすること連発です。どんな遊びをしようかと考える子ども、大きな子どもたちになると昨年した遊びを思い出し、こんなことがしたいと提案してくれたりもします。小さな子どもたちは、蛇口から出てくる水を容器で受けたり、ジョーロに入れたりし、土の上に撒く動作を繰り返したり、混雑し始めると、水道から離れると他の子にこの場所を取られまいとその場から離れない子もいます。そんな時、蛇口の前で水遊びをしている、1歳児のAくん、Bくんが近づいてくると、Aくんが先に「かーしーて、いーやーよ」と相手と自分のやりとりの言葉をどちらもひとりで言い、Bくんはその言葉に納得したのか??その場を立ち去りました。

そばにいた私は??、Aくんの言葉に笑いがこみ上げました。

事務所には、子どもたちがよく遊びに来ます。乳児クラスでは玄関の靴の出し入れの時などに、そーっと覗いてみたり、幼児クラスになるとカメやメダカのエサやりがしたいと言ってくる子、こんな遊びがしたいけど、どうしたらできるかとお願いや相談をしにくる子、ちょっと休憩をしにくる子など様々です。こんなこともあります。園長先生が不在時に、よく「園長先生は?」と尋ねられ、「今日はお仕事でお出かけよ」と返答、「先生は、じゃーいつ仕事に行くの?いつ仕事するの?」と…子どもの不思議は色々なところにあるようです。かえで保育園は大きなお家のように、子どもたちにとって、どの場所も居心地のよい空間でありたいと思っています。

主任保育士 藤森寿美

【せんせいからのおはなしコーナー】

かえで保育園には、みんなの人気者の“かめるくん”がいますが、実はうちには

“かめきち”と“かめたろう”という小さなミドリガメがいます。

8年ほど前に、お祭りでカメすくいをしたときに釣れたカメで、今も元気に育っています。

毎日餌やりをしているからか、覗き込むと近くによって来たり、天気がいいと甲羅干しをしている姿がとてもかわいいです。そんなかわいいカメ2匹ですが、先日脱走しました!以前から片方の背中について出ようとしていたのですが、ついに成功してしまったようです。家族が誰もいないときに脱走してしまったので、みんなで大騒ぎして探し、やっとの思いで隣の部屋の片隅でじたばたしていた、かめきちを発見しました。

小さな二匹ですが、力を合わせると大変です。脱走してしまわないようにかわいがっていきたいです。

林 奈津美

ねらい：「初めての水との楽しい出会いを大切に・・・」

う た：「あめふり・オデコサンヲマイテ」

生活リズムも子どもたちそれぞれに定まってきました。暑くなるにつれて園庭にでると、自ら水や泥んこに興味を持って探索活動を始めています。水や泥に触れた瞬間に振り返って担任の顔を見てにっこり“触ってみたよ、みてた？”と訴えかけているのかなと想像しながらお互いに目を見合わせて笑いあう毎日を過ごしています。水や泥んこ楽しい出会いをひとり一人の興味に合わせて一緒に感じていきます。

“おなかすいたよ～、だっこしてくれるの”



一人ひとりの様子をしっかりと見守るため、食事は毎日同じ先生が担当して進めています。園生活が始まり2ヶ月が過ぎました。今までは、お部屋の近くに先生がいることで安心してにこにこ笑って過ごしていましたが、最近少し変わってきました。自分の担当の先生が、エプロンと三角巾をつけると「ぼくのごはんだよね」「わたしもたべられるの」「ぼくのことだっこしてくれるよね」とお部屋のどこからともなく、先生の動きに気づいて先生の側まで来てくれるようになりました。食事の時間みんなに話しかけ「〇〇くんのごはんに行ってくるから待っててね」と1人を抱っこして食事へ向かい他の2人はお部屋にいる先生に抱っこをしてもらいます。ですが、子どもたちの意思もはっきりとしてきた今、違う先生に抱っこされると反り返って「ちがうの～」と訴えるように泣き、手を伸ばしているのです。その時に先生と食事をする子どもは、先生の顔を覗きこんで“いただきます”をする前ににっこり。ちょっと優越感。自分の時間ということに満足してくれているように思います。もうすこしすると順番が分かってくいき「どうぞ～」に変わります。また新たな様子を楽しみにしています。

もなく、先生の動きに気づいて先生の側まで来てくれるようになりました。食事の時間みんなに話しかけ「〇〇くんのごはんに行ってくるから待っててね」と1人を抱っこして食事へ向かい他の2人はお部屋にいる先生に抱っこをもらいます。ですが、子どもたちの意思もはっきりとしてきた今、違う先生に抱っこされると反り返って「ちがうの～」と訴えるように泣き、手を伸ばしているのです。その時に先生と食事をする子どもは、先生の顔を覗きこんで“いただきます”をする前ににっこり。ちょっと優越感。自分の時間ということに満足してくれているように思います。もうすこしすると順番が分かってくいき「どうぞ～」に変わります。また新たな様子を楽しみにしています。

“だ～れ～？”

慣らし保育が終了し園生活がはじまってから自分が落ち着く場所、お部屋での自分の居場所、安心する素材を見つけることに一生懸命だった子どもたちです。先生の顔を覚え、自分の好きなおもちゃを見つけることもできるようになり、少し気持ちにも余裕が出て、おもちゃを握って周りを見渡しています。すると、最近は、お友だちに興味を持ち始めました。“毎日みる顔だなあ”“白くてムチムチするの(ほっぺた)なあに？”と何度も触ってみたりすりすりして近寄るようになりました。そこから、お友だちがパチパチと手を叩いていると真似をして同じことを違う場所で楽しんでいることもあるのです。子どもたちの順応性に驚くばかりです。



“担任の思い”

少しずつ保育園の環境にも慣れ、知っている場所という安心感が得られるようになってこれたと思います。毎日顔を見合わせていく内に先生の顔に興味を持って触ってみたりと身近にいる人に関わろうとする姿が見られ始めました。初めての集団生活で自分と同じ年齢の子が近くにいることは子どもたちにとってすごく刺激的な環境です。お互いに良い影響を与えながら楽しいや嬉しい、おもしろいことが広がってくれたらと思っています。

～ふたばくみ～

ねらい：「水泥あそびを楽しもう」

うた：「かたつむり」「手をたたきましょう」 わらべうた：「メンメンタマグラ」「トウキョウト」

お天気の良い日が続き、保育者の「おそとへいこう！」の言葉に喜び、子どもたちも「いこう！」と声の掛け合いを楽しんでいます。オムツ交換をして、牛乳を飲んで、帽子をかぶる流れは子どもたちもわかっています。保育者が声掛けしなくても自分で帽子をかぶりベンチに座って友だちを待っています。友だちへの意識がどんどん増えてきていますので保育者の仲立ちの中、友だちと遊ぶ楽しさをもわかってほしいと願っています。

～ダンゴ虫探し～



始めはダンゴムシを見せてもらっても怖くて触れず少し離れたところで見ているだけでした。保育者が始めは一緒に探し「いないねー」と言っていた4月でしたが、5月に入り草むらを探すと沢山のダンゴ虫が見つかり「いたね。」とカップに入れて見ていました。日に日に慣れてきて、触ってみたい！に変わり、今ではほとんどのお友だちが触れるようになっていました。腕にのせて歩く姿を見たり、丸まった姿をじっと見たりしています。つぼみぐみや幼児クラスのお兄ちゃんお姉ちゃんもよく探しているの、傍に行っても同じように草むらをかき分けて探したり、見つけてもらったダンゴ虫を自分でカップを持ってきて入れてもらったりするようになりました。ダンゴ虫への興味を深め、園庭の中でたくさんの不思議にであってほしいです。

～部屋の様子～



ままごと・人形・積み木・電車・パズルや型おとし・クリップなどコーナーで仕切ってはいいのですが、コーナーごとに場所は決めて遊ぶように進めています。電車では、4月は線路を保育者がつなげてその上で電車を走らせ、その時は4人位しか遊んでいませんでしたが、今ではほぼみんなが興味を示すようになり、自分で線路をつなぐことにも興味を持ち、自分でやってみてその上を走らせるようになりました。ままごとではお弁当を作ってみて、布に包んで手に提げ散歩のように部屋を歩いてみたり、コップとペットボトルを用意して数名で飲む真似をしたり少しづつ生活の再現遊びへと変わってきています。積み木も積み木の場所をわかりやすいように畳を敷き、その上で一つ一つ高く積み上げたり、横に並べたり



自分なりに考えてあそんでいます。友達が遊んでいる姿をみて一緒に積み上げたり、隣でやってみたりして「できたー」「みて」と保育者に伝える時もあります。友達と一緒に、友達の遊びに興味を示しやってみたい、が芽生えてきました。トラブルになる事もありますが「かして」「いれて」等言えることで友達も「いいよ」と言ってくれる事も増えてきているので、子ども達に言葉で言えるように何度も繰り返し伝えていき、成長を見守っていこうと思います。

“担任の思い”

水遊びが好きなふたば組のお友達。これからどんどん気温も上がり今まで以上に水遊びがダイナミックになっていくと思います。服が汚れてしましますが、子ども達が楽しめるよう洗いやすく乾きやすい素材を選んでいただき、洗濯のご協力をお願いいたします。梅雨に入っていく季節ではありますので、部屋でゆったり過ごすことも担任同士で話し合い、色々な経験が出来る6月を過ごしていきたいと思っています。

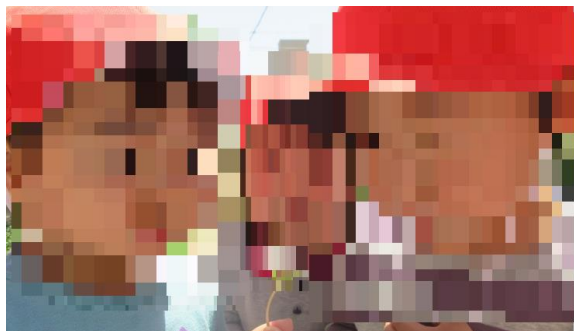
西口 智子・猪塚 明友美・星加 由美子

ねらい：「自然や生き物にたくさん触れ合おう」

う た：「あめ・かえるのうた・あめふりくまのこ」

新しい生活が始まって一ヶ月が経ちました。自分のロッカーやベットの場所を覚えてきたり、着替えや食事も自分の力でがんばろうとする姿が見られるようになってきました。苦手なことがあっても、「〇〇ちゃん見ててね。」とお友達に声をかけ、見てもらいながら挑戦しています。自分でできた喜びをたくさん感じられるように、少しお手伝いをしたり、子どもたちに任せてみたりしながらそばで見守っていきたいです。

“たんぼぼの綿毛見つけた！”



暖かくなってきて、園庭にはみんなの大好きなダンゴ虫や気になる植物がたくさん！

たんぼぼの綿毛を見つけたみんなは大喜びで、「これなに？」「フーってするの？」と興味津々でした。

お友だちと順番にフーっと息を吹きかけては、とても嬉しそうにしていました。

それからは、たんぼぼの綿毛探しに夢中で、園庭

中を探し回っていました。シロツメクサを見つけて「あったよ！」と一生懸命息を吹きかけて「あれ？飛ばないね。」とお友だち同士で話したり、お兄さん、お姉さんが綿毛を見つけて「こうやって吹くんだよ。」と教えてもらったり…。毎日発見や気づきがたくさんつぼみ組です。

“みんなとお話し楽しいね。”



最近お友だち同士でお話をする姿がとても増えてきました。じっとそばで耳を澄ませていると、「へー！公園行ったの？」「そうそう！パパとママと行ったの！」「それは楽しかったねえ！」などと楽しそうにお話をしています。

お部屋でもお外でも楽しそうに話す姿が多く、なんでだろう？どうしてかな？と疑問に思ったことを話したり、楽しかったことを伝えてくれたりし

ます。友達に自分の思いを言葉で伝える事がとても嬉しいようです。ぜひお家でもいろいろなお話を聞いてみて下さい。

“担任の思い”

毎日の遊びや友達とのかかわりの中で、発見があったり、気づきがあったりのつぼみ組。私たちもそばで見ているとおもしろいなあと感じる事がたくさんあります。子どもたちの興味のもっていること、不思議に感じたことを広げていくことができるように関わっていきたいです。また、友達とのかかわりが増えることで、トラブルもありますがお互いの気持ちを聞いて、言葉で伝えることをたくさん経験していきたいです。

ねらい：「興味のあるものに自分から関わっていく」

う た：「あめふりくまのこ・とんでったバナナ」

水遊びの心地よい季節になりましたね。暑い日にはじゃぶじゃぶ池が大盛り上がりで、水しぶきがたくさんあがっています。周りで様子を眺める子、足だけ浸かる子、中に入って頭から濡れる子などそれぞれですが、みんな思いっきり水遊びを楽しんでいます。水遊びだけでなく興味のあるものはいっぱい、虫めがねを持ってきてお花やダンゴ虫などを見たり、図鑑を抱えて探検したりと毎日自然に触れています。

“きゅうりの苗植え”



きゅうりの苗をみんなで植えました。「これなに?」「はっぱ?」と見た目はただの葉っぱに見えたようです。きゅうりだよと伝えようと「きゅうり～??!」と驚いていました。一緒に葉っぱを触ってみると「なんかチクチクする」と産毛を発見。「これがきゅうりなん…?」と再度不思議がる子もいました。苗のカップを取って植えようとするままたた何か発見。「なにこの白いの?」と聞いてきたのはきゅうりの根っこでした。「根っこだよ」と伝えようと「ねっこ…ねっかぁ」と何度もつぶやいていました。

“きゅうりのお花”



そしてみんなで可愛がったきゅうり。毎日大きくなっているか楽しみで見に行きますが、あまり変化が現れず。1週間が経ったとき、「うわあ!お花咲いてんで!」と黄色いお花を発見!!ようやく目で見えた成長を感じられ、思わずハイタッチしていたいぶきさんでした。これからもすくすく成長してくれることを祈っています。

“泥団子”



先月も紹介した泥団子。最近ではだいちにも負けないほどの泥団子を作っています。ひかりさんやだいちさんの作る泥団子を見て「なんかつるつるしてる」「光ってる」と発見したいぶきさん。やり方を聞いて擦るといいと気付いたみんなはさら砂をたくさん掛けたあと、優しく両手で擦り続けていました。以前は丸く作りたい、大きく作りたいだったいぶきさんが、ツルツルのもの、ぴかぴかのものを作りたいと見た目

もこだわようになってきました。自分の思いが強くなってきて、それを表現できる楽しさを味わっているようです。

“担任の思い”

保護者会でもありましたが、異年齢の生活はいぶきさんにとって刺激が多く、「あんな風に作ってみたい」「こんなことも出来たらな」というあこがれを強くさせてくれるようです。それは虫めがねや図鑑を持ってきて植物を見る姿から感じられることもあれば、泥団子にこだわる姿から感じられることもあります。あこがれていたことが自分で出来たり、分かたりする毎日の繰り返しを大切に、そこから子どもでしかできない発見や喜びをたくさん経験して欲しいと思います。

ねらい：「友だちと見つけてみよう」

うた：「あめふりくまのこ」「パレード」

子どもたちの中で自分で好きな遊びを探してじっくりあそんだり、お友だちと関わりながら鬼ごっこや家族ごっこをしてあそぶ姿も見られるようになってきました。日々を一緒に過ごす中で、子どもたちの興味や発見がどんどん広がりつつあります。その中でお友だちとこんな見つけた！と皆で観察をしたり、図鑑で調べたりと何事にも興味深々なひかりさん。園庭では水遊びや泥団子づくりにも取り組む子が増えてきました。たくさん楽しいことが発見できるような瞬間を大切にしていきたいと思います。

“崩れちゃっても、もう1回”

折り紙では始めは簡単なものを折ったり折ること自体を楽しんでいましたが、最近では手裏剣を折りたい、だいちさんが作ってるのを折りたいと作る目的を持って作る子が増えてきました。その中でこれ難しい…できないや…と話していると「〇〇ちゃん折り方してたよ、聞いてみよ」と折り方を聞いたり、一緒に折ることも増えてきました。その様子を見ていたいぶきさんにこれはね…と自信满满に教えていました。ありがとうと言われると嬉しいけれどちょっと照れてしまう可愛らしいひかりさんでした。クラスとしては積み木をどれだけ高く積み上げられるか形探しから始まった丸型からどんどん積み上げていきます。高くなるにつれて椅子に乗って積み上げていますが、少し当たると「がっしゃーん！」と崩れてしまう事もあります。「あ〜…」と初めは少し寂しそうですが「今度はもっと高く！」と目をきらきらさせながら再びみんなで積み上げていました。



“こんなのでやってみよう！”

朝のお集まりが終わり園庭にでる準備をしていると「外でたら泥団子の続きやろう！」「ぼく今大きいの作ってるから次は小さいのいっぱい作る」とどんな泥団子をつくるかお友達と一緒に話しながら園庭に出る姿をよく見ます。じょうろに水を入れて「ん〜今日はここかな」と泥団子を作る場所を決めます。土の量や水の量を手で実際に触りながら作り始めます。そのまま「ハンバーグみたい」「ぶによぶによしてる」と泥遊びが始まったり、丸めた泥団子にさら砂をかけて1つの泥団子を大事に作る子もいます。夕方、続きをしようと置いていた泥団子をいきなり築山に置いて「3、2、1、ごー！」と転がしていました。「え！全然壊れない！固いな〜」と何度も転がしていました。繰り返すうちに「あ！壊れた…」と泥団子を見つめていましたが「さら砂もっとかけたほうがよかったかな？」「もっとぎゅってした方が固くなったかな？」と話し始め「じゃあもう1回」「次はもっと大きくて固いのつくる」と2人で1つの泥団子を作り始めていました。



“担任の思い”

積み木をみんなで積み上げたり、園庭にいた虫や蝶を図鑑で調べてみたりとみんなで一緒につくる楽しさ、みんなでつくることができた達成感を少しずつ体験することができればと思います。大人が作るのを手伝うのも1つの方法ですが、子どもたちが少し困ったなというときには、こんな方法もあるんじゃないかな？と先生に頼ってみたり、一緒に過ごすいぶきさん、だいちさんにも声を掛けてみたりと子どもたち自身で気付けることが出来るよう見守っていきたく思います。

ねらい：「発見や、新しいことを知る楽しさを味わう」

う た：「かぜはともだち」「まあるいいのち」

友だちの拾ってきてくれた梅干しについてみんなで調べたり、図書館で図鑑を借りたりと、だいちさんの興味からあそびが広がりがつあります。一つ出来事が起きる度に16人で集まり話合う機会をつくっています。相手の言葉に耳を傾けたり自分の気持ちを言葉で伝えることの難しさを感じているだいちさんです。

「やってみたい」「不思議だな」「試してみよう！」という気持ちが引き出せるような関わりを意識しながら、6月を過ごしていきたいと思います。

また、6月は園外保育に出かけ、他園の友だちと交流することも予定しています。

“やってみようかな”

日差しが日に日に強くなり、園庭での水あそびも盛んになってきました。だいちさんの水あそびが始まるきっかけとなったエピソードをご紹介します。

その日はかぜグループ、はまグループに分かれて異年齢で過ごしていました。園庭に出るなりじゃぶじゃぶ池の水溜まりを見つけた子どもたち、初めに目を輝かせて水の中に足を浸けていたのは、ひかりさんでした。その嬉しそうな表情、“やっとな夏が来た！”といった声が聞こえてきそうです。ひかりさんがダイナミックに水しぶきをあげて楽しんでいる様子を少し離れた場所から眺めていたのが、だいちさんでした。わくわくでもなく、どきどきといった表情でもなく、ただただじっと見つめています。「気持ちよさそうだね、〇〇ちゃんもしてみる？」と誘いかけてみると「うん、この服汚れたら嫌だから」と返ってきました。その後もだいちさんに2人程声をかけてみましたが、「この服汚れたらだめなの」と同じ答えが返ってきたことに驚きでした。こんなにも気持ちよい魅力的なあそびが目の前にありながら、経験できないことが残念でなりません…。

その日、ひかり組とだいち組で集まる機会があったので、じゃぶじゃぶ池で気持ちよさそうにあそんでいたひかりさんの様子を全体へ伝えました。そして、園庭へ出る時には思い切り楽しめるよう服を選んで出てはどうかと提案してみました。

すると数日後、再びじゃぶじゃぶ池に水溜まりが出来ていたのを見つけただいちさんが、自ら「ねえ先生、お水入ってもいい？」と尋ねてきました。続けて「服も汚れてもいい？」と確認するので「〇〇ちゃんのやりたいようにしていいんだよ。」と声をかけると、「やったー！！」

笑顔で水あそびが始まりました。その様子を見て、一人、二人と次々に加わり、友だちと水のかけあいっこや、プールのように全身が浸かるように工夫してみたり…。その日を機会に、園庭あそびの中でもじゃぶじゃぶ池からは、だいちさんの楽しそうな声が聞こえてくるようになりました。



“担任の思い”

今年度は、異年齢で過ごす時間をより多く持てるようにと保育の組み立てをしています。年齢や月齢に関係なく共通理解を持って楽しめるもの、どの子も主役になり活躍できる場をつくりたい等、色々な思いを持って職員間であそびを提供していましたが、子どもたちが自由に過ごす中でこそ生まれる関わりがあることを、今回の姿から感じました。きっとひかりさんがダイナミックに楽しむ姿を見て、だいちさんも少し興味は湧いていたのではと思います。“でもな…”と勇気が出なかったのか、言葉の通り服を汚したくなかったのか、泥や水に触れる感触が苦手だったのか、理由は一人ひとり違ったかもしれません。それでもやってみようと一歩踏み出したことが大きな経験に繋がりました。

今回はひかりさんのダイナミックさが、だいちさんの心を動かしてくれましたが、今後も年齢やクラスを超えて“互いに育ち合える関係”を日々大切にしていきたいと思います。

保護者の方からのおはなしコーナー

4月から保育園生活が始まり、泣いてばかりいた息子ですが、お外遊びが大好きで、毎日楽しくすごしているようです。家では大好きなお兄ちゃんが遊んでくれるので、どんどんお話も上手になってきました。

めばえ組 まさこさん

最近では保育園でしている手あそびや歌を家でひとりで口ずさんでいます。まだまだ言葉は片言ですが、保育園での様子が自然と家でも現れている姿を見るのがとても楽しみです。

ふたば組 みきさん

以前は登降園時には大人から挨拶してもらうことばかりでしたが、いぶきぐみになってからはお兄ちゃんお姉ちゃんに「おはよう」「バイバイ」と声を掛けてもらえるようになりました。園での子ども同士の関わり合いをととても嬉しく思います。我が子もそうやって自然に挨拶が出来るようになればいいなと思います。

いぶき組 ことみさん

お絵かきをすると丸を描くことはできていた娘。いつの間にか丸の中に目と口を描いていてお顔になっていたのが驚きました。「先生に教えてもらったの？上手に描けたね～」と感心していると得意げな様子でした。お友達ともあいさつ以外の会話が増えてきて成長を感じるこの頃です。

つぼみ組 まゆさん

先日家族で歩道のない道を歩いている時に、娘が1番奥にいた主人に「パパもっと寄ってくれる。お母さんが危ないから」と言って端にある白線内に私が入れる様に気づかせてくれました。その優しさに感動しました。そして、普段から私が娘に言っていることがちゃんと伝わっているんだなって嬉しくなりました。

だいち組 まりえさん

ふたばぐみで入園し、5年目になりました。ほとんどの子がめばえ、ふたばからなので、小さいまだ赤ちゃんみたいな頃から一緒に成長してきて、みんながきょうだいのように過ごしているなあとと思います。あまえんぼうの末っ子が、保育園ではいぶきさんのお世話をしたりして、いつの間にかしっかりしたおねえさんになっていました。母はちょっとさみしい・・・

だいち組 えみこさん

～お台所から～

春の爽やかな季節も過ぎ、だんだんとじめじめとした暑い季節になってきますね。

6月の献立では少しずつ夏野菜も取り入れ、食欲が落ちず食べやすい内容を考えています。

5月の食育活動

- ・こどもの日の集いでは今年度初めて、手作りの柏餅を作りました。だいち組は自分たちで柏の葉で包んで食べました。又、ちまきがどのように包まれているか、実際に笹の葉といぐさを使って子どもたちの前で実演しました。畳がいぐさから出来ていることを話すと、「畳のおいする」とびっくりしていました。
- ・5月のお誕生日ケーキは、「いちご」と「みしょうゴールド」にしました。朝から楽しみにしてくれていたようで、「今日はどんなケーキにするの?」「果物いっぱいにしてね」と、嬉しそうに話してくれました。
- ・ひかり組でふきのすじとりをしました。大きなふきを見ると「すごい大きい」と驚いていました。最初は少し難しそうでしたが、うまく剥けると「先生見て」「めっちゃきれいに剥けた」と言って見せてくれました。お昼に出したふきの煮物も、「美味しかった」と言ってきれいに食べてくれました。
- ・おやつわかめおにぎりを、つぼみ組の子どもたちの目の前で握りました。握りたてのおにぎりは格別だったようで、「美味しい」と大きなお口を開けて食べてくれていました。

6月の献立 旬の野菜

そらまめ	いんげん	みつば	ずいき
スナップエンドウ	レタス	オクラ	大葉
くうしんさい	かぼちゃ	ピーマン	さくらんぼ

6月に予定している食育活動

- ・梅干し、梅ジュース作り
- ・じゃがいも餅作り
- ・そら豆の皮むきなどを予定しています。



目の前でちまきを包みました



大きなふきをすじとりしました



目の前でおにぎりを握りました

こんなことしたよ♪

10日(水)はこどもの日の集いがありました。

園庭にこいのぼりが泳いでいるのを毎日嬉しそうに見ていた子どもたち。集いで

はこいのぼりの由来などの様々なクイズに答えて楽しみました。そして、この日のおやつはだいちさんもお手伝いした、手作りの柏餅が出されました。健やかな成長を祈って全員でおいしくいただきました。

12日(金)はお弁当日でした。みんな前日から、「明日お弁当だ!」と楽しみにしていました。当日、幼児さんは夙川公園へ散歩に行き、青空の下みんなでお弁当を食べました。保育園にいたお友だちも、普段とは違ったご飯にととても嬉しそうでした。お忙しい中、お弁当のご準備ありがとうございました。





- 6月12日（月）～23日（金）
武庫川女子短期大学から女子2名の学生が実習に來られます。
- 6月7、8日は幼児クラス対象の尿検査があります。7月には、全園児対象の耳鼻科、眼科、歯科健診があります。詳細はお手紙を配布します。できるだけ欠席のないように受診をお願いします。

～乳児からのお知らせ・お願い～

- 沐浴やシャワーを始めています。体拭きタオルの準備をお願いします。
- 水遊びも盛んになってきましたので体調が優れないお子さまはお知らせください。

～幼児からのお知らせ・お願い～

- 水遊びや泥遊びが盛んになってきました。着替え・体拭きタオルの準備をお願いします。
- 濡れた服を入れる袋もご用意ください。
- 髪留めは飾りの付いていない、シンプルなゴムのみ使用してください。

☆お願い☆

- これから雨の日が多くなります。駐車場ご利用の方は、短時間の利用にご協力下さい。
- レインコート使用の際は、玄関のレインコートかけをご利用ください。
- 傘立てに置き傘はしないで下さい。同じ傘がよく見られます。名前のご記入をお願いします。

《6月の予定》

- 1日（木）体操
- 2日（金）だいち 松秀幼稚園交流会
*お昼は園でお弁当を用意します
- 5日（月） 絵画
- 7日（水）尿検査提出日 1日目
- 8日（木）尿検査提出日 2日目
*尿検査は幼児クラスのみ対象となります
詳細は手紙を配布します
- 14日（水）めばえ・ふたば親子で遊ぼう
- 15日（木）体操
子育て支援(絵本・身体測定)
- 21日（水）だいち 幼保交流会
「はじめましての会」
- 22日（木）体操
尿検査未提出・再検査日
- 23日（金）誕生会
- 24日（土）アルソック工事（インターホン、カメラ）
- 27日（火）だいち YMCA 保育園との交流会
- 28日（水）だいち 幼保交流会
「みんなであそぼうの会」
月例健診
- 29日（木）体操
- 30日（金）絵画
厨房（グリストラップ）工事

《7月の予定》

- 8日（土）七夕まつり
*会の準備のため、13時までの保育となります。できるだけ家庭保育のご協力をお願いします。
- 4日（火）耳鼻科健診
- 6日（木）眼科健診
- 11日（火）歯科健診
（幼児クラスはブラッシング指導も受けます）
*各健診前に問診票をお渡ししますのでご提出をお願いします

